【学校教育目標】　夢をえがき　計画を立て　行動する　児童の育成

家庭と学校の絆

月桂樹

令和８年度１１月号
戸田市立新曽小学校
TEL　048-442-2774

心を一つに

校長　筒井　陽子

校庭の木々も色づき始め、秋の深まりを感じられる季節となりました。

子供たちは、10月30日（金）・31日（土）の校内音楽会に向け、合唱や合奏の練習に励んでいます。昨年はインフルエンザの流行により、校内音楽会が中止となったため、全校での実施は2年ぶりとなります。本番に向け、体育館や音楽室、教室から子供たちの歌声や演奏が毎日心地よく響いています。

今年度は、校内音楽会に向けて子供たちが主体となり、事前にアンケートをとり話し合い、「和～みんなで　心を一つに　響かせよう　ハーモニー～」というスローガンを立てました。そして、このスローガンのもと、子供たち一人ひとりが目標を決め、取り組んできました。体育館後方には、児童委員が作成した月桂樹に子供たち一人ひとりの目標が書かれている葉が一枚一枚貼られた大きな模造紙が掲示してあります。

一人ひとりの音色（個性）が重なり美しい音楽を紡ぎ出す30日（児童向け）、31日（保護者向け）の本番が、今からとても楽しみです。保護者の皆様には、ぜひこれまでの音楽の授業の成果をご鑑賞いただき、「芸術の秋」をお楽しみください。御来校を心よりお待ちしております。



さて、11月は、「戸田市いじめ撲滅強調月間」です。本校では、目指す学校像を「やる気と優しさが響き合い、地域とともに、共生社会で活躍できる人材を育成する学校」とし、児童が将来「誰もが笑顔で幸せに暮らせる社会」づくりに、社会の一員として積極的に力を発揮できる人となることを目指しています。子供たちの幸せを実現するために、互いのよさや違いを認め合う人間関係の構築に向け、セサミストリートカリキュラム等の教育活動や、毎月「心のアンケート」を通した小さな悩み・変化の早期発見と対応に努めております。

また、11月には人権感覚育成プログラムやいじめ撲滅に関する道徳の授業を行います。子供たちは互いの気持ちを理解することの大切さに気付き、相手との良好なコミュニケーション能力を育むとともに、「いじめを許さない」という強い気持ちを高め、自分自身と向き合い自分の行動について考える学習を行います。学校では、引き続き、多様性への理解を深め、道徳教育や心の教育を通して、かけがえのない生命、生きることの素晴らしさや喜びなどについて指導します。

そして、いじめの問題の解決には、御家庭との連携が不可欠です。お子さんの小さな変化やサインに気付き、気持ちに寄り添って話を聞いたり、スマートフォン等の使い方についてご家庭でのルールをお子さんと話し合ったりしていただければ幸いです。御心配なことがございましたら、学校へご相談ください。